

2023年7月海洋観測結果について

6月26日に栽培漁業センターの調査船「おしどり」により海洋観測を以下の表1、図1の調査点で行いました。調査結果については、当センターホームページ (<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=201810>) と沿海漁協にはファクシミリで通知します。

表1 観測定点

	調査点	海底水深	経度	緯度
赤碕ライン	ST-1	16m	133.41	35.3100
	ST-2	50m	133.40	35.3430
	ST-3	70m	133.40	35.3736
	ST-4	95m	133.40	35.4340
	ST-5	185m	133.40	35.4805
長尾鼻ライン	ST-6	185m	134.00	35.4300
	ST-7	95m	134.00	35.4000
	ST-8	70m	134.00	35.3700
	ST-9	50m	134.00	35.3400
	ST-10	13m	134.00	35.3200

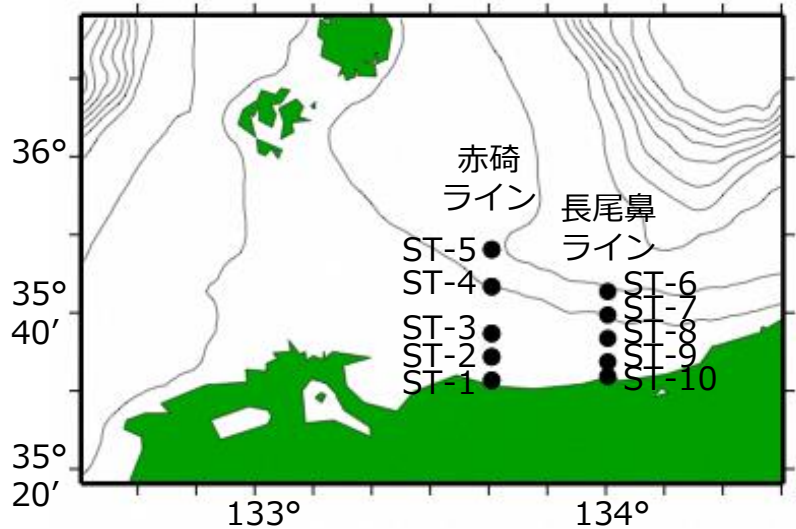


図1 観測定点

【鉛直分布図】

赤碕ライン、長尾鼻ラインともに表面水温は22℃以上に昇温していました。

水深150m付近から水温躍層が発達し、水温は10℃以下に低下していました。

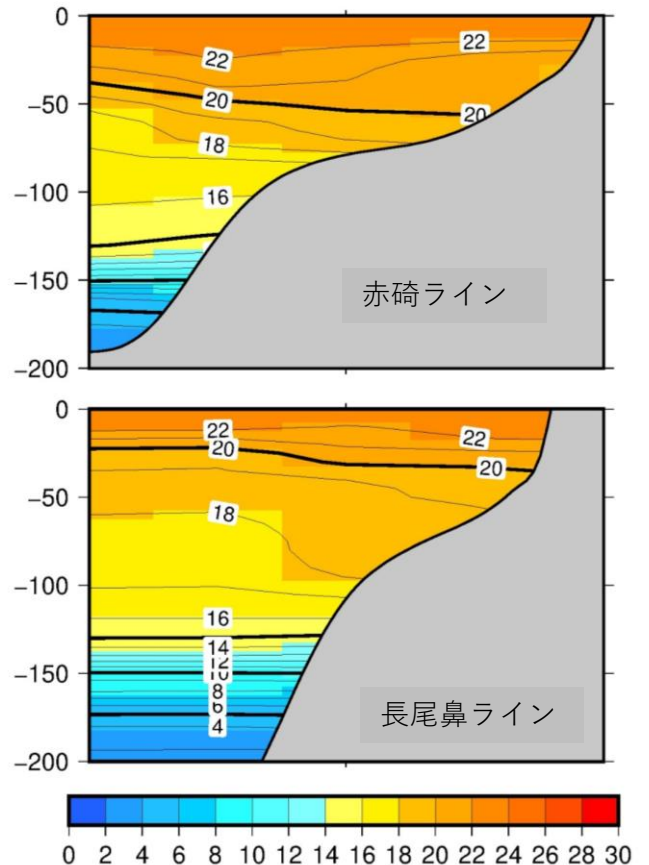


図2 鉛直分布図 (海水温の単位:℃)

【水深帯別の比較】

2023年7月観測時点では、赤碕ラインは水深0mから50mまでは平年より水温が0.1～0.4℃高く、水深90mでは平年より0.7℃低くなっていました。

長尾鼻ラインでは、水深0mから50mまでは平年より水温が0.1℃低く、水深90mでは平年より0.6℃高くなっていました。

表2 各ラインの水深帯毎の平均水温

調査定線	赤碕ライン (133° 40')				長尾鼻ライン (134° 00')			
	水深帯	0m	30m	50m	90m	0m	30m	50m
2023年	22.9	20.9	19.5	16.4	22.7	20.0	18.8	17.8
前年	25.1	21.6	19.9	17.3	23.8	22.0	21.1	19.0
2010-22年平均	22.8	20.5	19.1	17.1	22.8	20.1	18.9	17.2
平年差	0.1	0.4	0.4	-0.7	-0.1	-0.1	-0.1	0.6